

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年5月17日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677000111
法人名	社会福祉法人 福寿会
事業所名	グループホーム るーびんのさと〈大崎〉
所在地	鹿児島県曾於郡大崎町永吉6033番地 (電話) 099-471-7390
自己評価作成日	令和3年3月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年5月12日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者が楽しく参加できるようレクリエーションを考えております。また、春はあくまき、冬には焼き芋や豚汁を提供し囲炉裏を用意するなど季節感のあるスペースを作ります。家族会から贈られたホットプレートを使って利用者様と一緒に焼きそばやホットケーキ等手作り料理を調理しています。園庭にはグリーンカーテンや季節折々の花々を定植し、水やりや草取り等行っております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、特別養護老人ホームを母体とする、福祉事業所の1事業所であり、地域の要望で設立されたグループホームである。
- ・職員は理念に沿って、日常をともに喜び・楽しめる支援を心がけている。利用者が我が家と思って、ほっとできる場所を目標にしている。
- ・協力医療機関との24時間緊急対応の体制があり、特別養護老人ホームの看護師の緊急時応援体制もあり、適切な医療を受けている。
- ・自然豊かな広い敷地の中で、広いウッドデッキが、各部屋を巡っていて、自由に庭に出られいきいきと暮らしている。
- ・今期は、コロナ感染予防の為、地域交流や行事・外出を自粛し、ホームの中でできる催しに力を入れている。コロナ収束時に向けての計画を作成し、楽しみにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を見えやすい位置に掲げて意識付けを行っている。	ホーム独自の理念をフロアに掲示し毎朝唱和している。処遇会議や部署会議でも振り返り、年末に目標を含めた理念を検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議で民生委員と情報交換をしている。	法人の祭りや駅伝の応援・子供会の交流・ボランティアの受け入れ等、地域との交流が盛んであるが、コロナ感染防止の為、自粛している。野菜の差し入れは受けている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ禍により進まないが、発信方法を模索している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	リモート開催により大崎町、地域包括支援センター、民生委員や利用者の家族と意見交換し、サービスに活かしている。	コロナ感染症防止のため、2ヶ月毎に運営推進会議を書面で4回、リモート会議を2回実施している。事業所の状況報告や利用者の近況等を報告し行政からも情報等を得て、意見交換を実施し運営に活かしている。委員の意見を返信用紙でもらう方法も計画している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議や大崎町のケアマネ研修会に参加している。	町の窓口に行ったり電話で関係性を構築している。運営推進会議時の意見交換やケアマネ研修会に参加し協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	各事業所や法人全体で話し合いを行っている。	法人で指針を作成し、委員会を毎月、研修会を年1回実施している。不穏の予兆を把握した場合は散歩と一緒に外へ出かけて気分転換を図る等、目配りを十分に行うことで行動を制限しないケアに取り組んでいる。言葉の拘束等についても勉強会を行い、玄関の施錠も含め、拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	メディパスアカデミーという教材を使用し、勉強会を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	身体拘束虐待防止委員会を中心に勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時の説明を行う。また、その後もフォローを行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族からの情報などは情報ツールを使用し共有するようにしている。</p>	<p>利用者からは食べ物に関する要望が多い。家族にはアンケートを行い意見や要望を聞いて、出された要望等は連絡ノートやLINEで共有し運営に活かしている。家族とともに開催する敬老会や小旅行もコロナ感染防止の為、自粛している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>部署会議を通じ意見収集を行っている。</p>	<p>日常の業務の中で意見を気軽に出来る雰囲気づくりをしており、出された提案は、試行後に部署会議で検討し継続の可否を決めている。玄関に空気清浄器を購入した。個別の相談や目標設定等に対する個別面談を年3回実施している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課を行い、評価体制を整えている。休暇を取るよう積極的に働きかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>メディパスアカデミーという教材を使用したり、リモートでの研修を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ禍により交流は限定されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>自己紹介の場を設け、利用者様の生活歴を訊き、情報を得ている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居時のサービス担当者会議や利用者様本人、ご家族との会話にて得られた情報から介護計画を立てている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居申し込み時や入居時、ご家族様との面談時に計画を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>会議や日々の支援の中で職員と利用者様の相互関係を築く働きかけを模索している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>担当者は利用者様に必要な物を家族に持って来てもらうなど支援協力を仰いでいる。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>コロナ禍により困難である。</p>	<p>コロナ感染症予防の為、面会や外出を制限しており、玄関フロアでの面会や電話での交流を支援する他、事業所から「大崎便り」の送付や電話で近況報告を行ない、家族との関係が途切れないように努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様同士が身の上話などの会話を行っている。時々、言い争いも聞かれる。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>入院時には職員が来院し、可能であれば面会を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人や家族からの話をもとにアセスメントを行っている。	日々の生活の中で本人の希望等を把握できるように声掛けしており、レクリエーションの前や起床時・水分補給時にゆっくり聞いている。行動や状態が変化してきた時等は、職員や家族と話し合っ、本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様やご家族様の話や関係機関からの情報を参考に行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の中での生活パターンを把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回の処遇会議やサービス担当者会議での結果をもとに計画している。	サービス担当者会議時に、家族・薬剤師・職員で検討し、主治医の意見や処遇会議の情報も入れて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回、見直しは6ヶ月または必要時に行い、現状に即したものとなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	健康チェック表や排泄チェック表を用いて情報共有を行っている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	職員による日々のケアでの気づきやご家族様との話の中でサービス向上につとめている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	現在、新型コロナウイルス感染症予防の観点から地域住民との交流が難しい状況であるが、出来ることを模索している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	主治医の的場医師による往診で対応している。	入所するときに協力医療機関を勧めている。月2回の訪問診療があり、24時間緊急時対応が構築されている。受診は家族または職員が行い、結果は、互いに報告を行い、適切な医療を受けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	日頃から特養の看護師や的場クリニックの看護師と連絡出来るよう体制が整っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院先へ訪問し、関係者と情報交換を行っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入居時や入居後も急変時や状態変化時のことに関して話をし、方針を決定している。	契約時に重度化等の場合の対応について説明している。状況の変化に応じ段階的に、特別養護老人ホーム等の選択肢の説明と家族の意向確認を聞き、家族の意向に沿って取り組んでいる。看取り介護の事例がある。年1回、法人の看取り委員会で研修を実施している。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	消防署での救急救命講習への参加や看護師が行う研修に参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、消防署員の立ち合いのもとで避難訓練を行い、非常食や緊急連絡網整備など災害に備えている。</p>	<p>年2回の避難訓練を夜間想定で実施しているが、コロナの感染症予防の為、消防署の立ち会いはなく自主訓練を行っている。近隣は高齢者が多く地域の協力は困難であるが、職員の住宅が近くにあり協力体制を作っている。消防設備については業者が点検している。非常用の備蓄は、3日分の水・米・缶詰等の食料及び発電機・カセットコンロも準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者に声を掛ける際は声のトーンに気を付けたりしている。	マニュアルに沿って、一人ひとりに合わせた言葉かけや対応に努めている。排泄の失敗時等は羞恥心に配慮し、さりげない声かけと素早い対応をしている。呼称はさん付けである。暮らし方や性質も違うので、個々に配慮し支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様の意思決定がしやすいように援助している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様のペースに合わせる工夫をし、要望があれば話し合いを行う。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	居室のダンスの中にお気に入りの服を用意し、イベントの際には化粧を行う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を利用し、一緒に調理する援助を行っている。	副食は業者に依頼しているが、昼食のおかずを作ったり、手作りおやつを作って楽しんでいる。コロナで外出ができないので、目先を変えて庭で食べたり、そば打ちをしたり、クリスマス会をして楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご本人様の好みや負担に合わせて調整している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯の状態を観察し、歯科往診にて調整を頼んでいる。また、お茶うがいを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はトイレ誘導によるトイレでの排泄を促す。夜間はポータブルトイレを使用するようにしている。	排泄パターンに合わせて、日中はトイレでの排泄を行っている。ほとんど布パンツやリハビリパンツにパッドである。トイレまで行って間に合わないということはあるが、尿意はあり自立している。おむつを夜のみ使用している場合もある。リハビリパンツから布パンツに改善した事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳、ごぼう茶による水分補給、芋などの食物繊維の提供を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	冬にはゆず湯を楽しんで頂く。また、暖簾を使った雰囲気作りを行っている。	入浴は週3回午後である。介助を行ったり、体調により清拭や足浴をしている。家庭用浴槽で、一人ひとり、お湯を入れ替え、冬はゆず湯を楽しんでいる。嫌がる場合は無理強いせず、時間を変えたり翌日に変更して支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はフロアにて過ごして頂き、活動量を上げ夜間は安眠が出来るような生活スタイルにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をファイルし、看護師との情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	黒砂糖や好きなお菓子などの提供や踊りなど利用者の好きなことを調べ実施している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	ご家族様の支援を頂きながら、一時帰宅を行ったり、近所の散歩など行っている。	コロナの感染症予防の為、家族との外出ができず、行事や外出は自粛している。日常的に庭や近隣の散歩を個々に分かれてしたり、個別支援のドライブに出かけている。コロナ終息後の外出計画を楽しみにしている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	利用者様のお金を金庫で保管し、買い物の際に使えるようにしている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	ご家族様から届いた手紙を渡して読んで頂く。また、デジタル機器を使ったオンライン面会を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の居心地の良い環境を職員間で話し合っている。	玄関やフロアは広々として、天井も高く明るく開放的である。ウッドデッキへいつでも自由に入出りでき、季節を感じられる。空気清浄機やエアコンで十分な換気と適度な室内環境に調節している。囲炉裏や畳部屋があり、居心地よく暮らしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様の状態を見て、職員が声を掛けたり席を変更したりしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人に馴染みのある家具や小物を置いたり、レイアウトを考えるなど住環境を検討している。	和室と洋室があり、利用者の状況等で自由に選んでいる。エアコン・ベッド・クローゼット・洗面台が設置され、掃き出し窓からデッキに出られる。寝具はレンタルである。個人で、タンスやテレビ・時計・化粧品等を持ち込み、自宅に近い環境で暮らしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレは安全に自立した排泄が出来るような作りにし、浴室は家庭的な雰囲気や大事にした作りとなっている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない